

山口情報芸術センター[YCAM] 特別上映

## 山口未公開日本映画特集 「鈴木×鈴木」

2010年1月14日(木)～2月21日(日) ※毎週木曜～日曜に上映

会場：スタジオC (各回入替制：先着100名)

入場料：一般 700円 \* 入場券は当日会場窓口にてご購入ください。

回数券 3回券 1500円、15回券 6000円

### 鈴木清順監督15作品、鈴木則文監督15作品 時代を駆け抜けた傑作群、一挙上映

山口情報芸術センター[YCAM]では、2010年1月14日より6週にわたり、1950～60年代の日活アクション映画を代表する鈴木清順監督と、1960～70年代の東映アクション映画を代表する鈴木則文監督の特集上映を開催いたします。

本特集では、日活時代の鈴木清順監督作品より選んだ15作品と、鈴木則文監督が自ら選んだ15作品を上映。アクション映画だけにとどまらない、2人の映画作家の多面的な魅力をご紹介します。

2ヶ月間で30本の豪華なプログラムとともに、関連企画として、スペシャルゲストを招いたトークイベントも開催。こちらもぜひ、ご注目ください。

公式ウェブサイト：[http://suzuki\\_suzuki.ycam.jp/](http://suzuki_suzuki.ycam.jp/)

#### トークイベント

2010年2月13日(土) 16:10～ 入場無料 会場：スタジオC

ゲスト：鈴木則文(映画監督)、青山真治(映画監督・小説家)

柳下毅一郎(映画評論家・特殊翻訳家・殺人研究者)

主催：財団法人山口市文化振興財団、文化庁、やまぐち地域文化芸術振興プラン実行委員会

後援：山口市、山口市教育委員会

文化庁『地域文化芸術振興プラン』プロジェクト

企画制作：山口情報芸術センター[YCAM]

監修：堀家敬嗣(山口大学教育学部准教授)、阿部一直(山口情報芸術センター学芸課長)



#### 山口未公開日本映画特集について

近年、山口県下で上映されていない作品を中心に、作家・テーマ別に作品を選定したプログラムです。2006年よりYCAMで開催しています。

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター[YCAM] 担当：松富 広報担当：辰村

TEL：083-901-2222 FAX：083-901-2216 E-mail：information@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7 <http://www.ycam.jp/>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

## ＜鈴木清順監督特集＞ 2010年1月14日(木)～31日(日)

モダンかつ奇抜な演出、絢爛な色彩感覚、独自の美学により、日活所属時代に手がけた、青春ものから仁侠ものサスペンスからアクションまで幅広いジャンルの作品を上映します。斬新なカメラワークや美術などにより、新しい感覚の日本映画の世界を切り開いた傑作の数々をご堪能ください。

■上映作品 ※上映時間等詳細は、別紙ちらしをご参照ください。

### 【第一週】 1月14日(木)～17日(日)

- 「悪魔の街」 1956年/79分/日活/モノクロ/デジタル上映  
出演：河津清三郎、菅井一郎、由美あづさ
- 「青い乳房」 1958年/90分/日活/モノクロ  
出演：小林 旭、稲垣美穂子、渡辺美佐子
- 「海峡、血に染めて」 1961年/84分/日活/カラー  
出演：和田浩治、清水まゆみ、葉山良二
- 「野獣の青春」 1963年/92分/日活/カラー  
出演：宍戸 錠、渡辺美佐子、川地民夫
- 「東京流れ者」 1966年/83分/日活/カラー  
出演：渡 哲也、松原智恵子、二谷英明



「海峡、血に染めて」(1961) (C)日活

### 【第二週】 1月21日(木)～24日(日)

- 「8時間の恐怖」 1957年/78分/日活/モノクロ/デジタル上映  
出演：金子信雄、利根はる恵、二谷英明
- 「素ッ裸の年令」 1959年/54分/日活/モノクロ  
出演：赤木圭一郎、堀 恭子、左 ト全
- 「くたばれ愚連隊」 1960年/80分/日活/カラー  
出演：和田浩治、清水まゆみ、小沢栄太郎
- 「探偵事務所23 くたばれ悪党ども」 1963年/88分/日活/カラー  
出演：宍戸 錠、笹森礼子、川地民夫
- 「春婦傳」 1965年/96分/日活/モノクロ  
出演：川地民夫、野川由美子、玉川伊佐男



「殺しの烙印」(1967) (C)日活

### 【第三週】 1月28日(木)～31日(日)

- 「暗黒街の美女」 1958年/87分/日活/モノクロ  
出演：水島道太郎、白木マリ、二谷英明
- 「密航0ライン」 1960年/83分/日活/モノクロ  
出演：長門裕之、小高雄二、清水まゆみ
- 「刺青一代」 1965年/87分/日活/カラー  
出演：高橋英樹、和泉雅子、小高雄二
- 「関東無宿」 1963年/93分/日活/カラー  
出演：小林 旭、松原智恵子、平田大三郎
- 「殺しの烙印」 1967年/91分/日活/モノクロ  
出演：宍戸 錠、南原宏治、真理アンヌ

#### 【監督プロフィール】

##### 鈴木清順 (すずき せいじゅん)

1923年生まれ、映画監督。本名は鈴木清太郎。1948年松竹大船撮影所に助監督として入所するが、1954年に日活に移籍。1956年「勝利をわが手に 港の乾杯」で映画監督デビュー。2年後の1958年鈴木清順に改名する。多くの傑作を手がけるものの、「殺しの烙印」(1967年)が当時の日活上層部に理解されず解雇となる。この事件はやがて「鈴木清順問題共闘会議」による抗議活動へと発展していった。以後、映画では10年のブランクを経て「悲愁物語」(1977年/松竹)で復帰。その後も「ツイゴイネルワイゼン」(1980年/シネマ・ブラセット)などの傑作を生み出す。映画以外にもテレビやビデオ、CMなどを監督として手がけているが、その一方で俳優としても多く出演している。元NHKアナウンサーの鈴木健二は実弟。

## ＜鈴木則文監督特集＞ 2010年2月4日(木)～21日(日)

東映所属時代より、脚本家・映画監督として、任侠映画、アクション、漫画、ポルノ、アイドル、文芸作品まで、多彩な作品を手がけ、娯楽に徹した大胆明瞭な作品づくりにこだわり続けた鈴木則文監督。「かつて日本映画はこんなに面白かった！」をコンセプトに監督が自ら選定した傑作の数々をお楽しみください。

■上映作品 ※上映時間等詳細は、別紙ちらしをご参照ください。

### 【第四週】 2月4日(木)～7日(日)

○「大阪ど根性物語 どえらい奴」 1965年／87分／東映京都／モノクロ

出演：藤田まこと、曾我廼家明蝶、藤 純子

○「聖獣学園」 1974年／91分／東映東京／カラー

出演：多岐川裕美、山内えみこ、渡辺やよい

○「多羅尾伴内」 1978年／104分／東映東京／カラー

出演：小林 旭、八代亜紀、夏樹陽子

○「忍者芸芸帖 百地三太夫」 1980年／117分／東映京都／カラー

出演：真田広之、蜷川有紀、志穂美悦子

○「兄弟仁義 逆縁の盃」 1968年／90分／東映京都／カラー

出演：北島三郎、菅原文太、遠藤辰雄

### 【第五週】 2月11日(木・祝)～14日(日)

○「緋牡丹博徒 一宿一飯」 1968年／95分／東映京都／カラー

出演：藤 純子、若山富三郎、水島道太郎

○「ドカベン」 1977年／84分／東映東京／カラー

出演：橋本三智弘、高品正弘、永島敏行

○「トラック野郎 爆走一番星」 1975年／96分／東映東京／カラー

出演：菅原文太、愛川欽也、あべ静江

○「吼える鉄拳」 1981年／95分／東映京都／カラー

出演：真田広之、志穂美悦子、千葉真一

○「少林寺拳法」 1975年／87分／東映東京／カラー

出演：千葉真一、中島ゆたか、志穂美悦子

### 【第六週】 2月18日(木)～21日(日)

○「まむしの兄弟 恐喝三億円」 1973年／88分／東映京都／カラー

出演：菅原文太、川地民夫、松方弘樹

○「華麗なる追跡」 1975年／83分／東映東京／カラー

出演：志穂美悦子、田中久子、マッハ文朱

○「トラック野郎 望郷一番星」 1976年／100分／東映東京／カラー

出演：菅原文太、愛川欽也、島田陽子

○「エロ將軍と二十一人の愛妾」 1972年／92分／東映京都／カラー

出演：池 玲子、渡辺やよい、三原葉子

※18歳未満は入場できません。

○「文学賞殺人事件 大いなる助走」 1989年／129分／アジャックス／カラー

出演：佐藤浩市、甲斐えつ子、石橋蓮司



「緋牡丹博徒 一宿一飯」(1968) (C)東映

### ■トークイベント

2月13日(土) 16:10～ 入場無料

ゲスト：鈴木則文 (映画監督)、青山真治 (映画監督・小説家)

柳下毅一郎 (映画評論家・特殊翻訳家・殺人研究者)

### 【監督プロフィール】

鈴木則文(すずきのりふみ)

1933年生まれ。映画監督、脚本家。

1956年、東映京都撮影所に助監督として入所。1963年、「続・てなもんや三度笠」で脚本家としてデビューする。1965年、「大阪ど根性物語 どえらい奴」で監督デビュー。任侠映画やアクション映画を手がけながら、「温泉みずす芸者」(1971年)などのポルノ路線の作品や「華麗なる追跡」(1975年)などの女性アクションものも手がける。また、藤純子主演の「緋牡丹博徒シリーズ」(1968～72年)や菅原文太主演の「トラック野郎シリーズ」(1975～79年)など、東映の一時代を築く代表的な人気シリーズを生み出した。「コートローまかりとおる」(1984年)を最後に東映を去る。フリーとなった後も「堀の中のプレイ・ボール」(1987年/松竹)など娯楽に徹底した作品を作り続けながら、テレビの脚本も多く手がけている。

### 【ゲストプロフィール】

■青山真治(あおやま しんじ)

1964年生まれ。映画監督、小説家。

助監督や批評家を経て、96年「Helpless」で映画監督デビュー。最新作は『Le Petit Chaperon Rouge』。近著は「地球の上でビザもなく」(角川書店)。

■柳下毅一郎(やなした きいちろう)

1963年生まれ。映画評論家、特殊翻訳家、殺人研究者。

出版社に勤務後、フリーとなり現在の活動を始める。

主な著書に「シネマハント」(エスクァイア・マガジン・ジャパン)、近著の翻訳本として、アラン・ムーア著「フロム・ヘル」(みすず書房)。